

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Annie's House			
○保護者評価実施期間	R8年 3月 16日 ～ R8年 3月 28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	R8年 3月 16日 ～ R8年 3月 28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員のチームワークが良く、お互いが声かけしあい協力することが出来ている。そのため児童の体調や変化についての気付きも早く伝え合うため周知が早く対応も早い。	日々の児童の体調や変化をバイタルサインやモニターの数値だけで判断せず、全身の観察やスキンシップなどを通していつもと違うという気付きを速やかに報告し、迅速に適切な対応ができるようにと、児童の情報収集や勉強会をしています。	勉強会や研修参加の回数を増やしスキルを上げていく。
2	看護師が多くまた重症心身障害児に対する職場経験者が多いため、保護者様に少しでも安心して預けていただくことができるのではないかと思います。	看護師が常に3～4人の勤務体制であり、送迎もできる限り看護師が同乗する形で組んでいます。	今後も看護師の人数と勤務体制の維持に努めていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部研修の受講があまり出来ていないため、スキルを上げるために改善が必要。	送迎、医療的ケア、機能訓練、トイレトレーニング、食事介助などの日々の個別児童のスケジュールをこなすのに時間が足りず要員を出すのが難しい。	パートスタッフでシフトチェンジして、正社員に外部研修を受ける時間をつくっていく。
2	他保育園や地域交流参加が出来ていない。保護者を交えた交流等のイベントが出来ていない。	保育園や幼稚園との交流は、重症心身障害児や医療的ケア児は、注入やお風呂、医療的処置等がいろんな時間に組み込まれているため他地域交流にまで現在も至っていない。保護者を交えた交流も両親ともに働いている家庭多ため時間を作れていない、	土日を利用し、地域交流や保護者を交えたイベントの計画を立て、地域交流や保護者の交流が出来るよう努めていく。
3			